

## Press Release

報道関係者各位

TokyoTokyo  
FESTIVAL

2019年2月28日

アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）

NPO法人粋なまちづくり倶楽部

神楽坂のまち全体を舞台にした  
日本の伝統芸能フェスティバルを開催します！

## 神楽坂まち舞台・大江戸めぐり 2019

## 開催概要

アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）とNPO法人粋なまちづくり倶楽部（東京都新宿区）は「神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2019」を2019年5月11日（土）・12日（日）に東京・神楽坂エリアで開催いたします。

## 「まち」と「人」が一体になった祭

今年で7回目を迎えるこのイベントは、路上、寺社境内、店舗など、東京・神楽坂の街なかで、日本の様々な伝統芸能に出逢っていただく「まち」と「人」が一体になった祭です。アーツカウンシル東京と、神楽坂の振興に尽力してきたNPO法人粋なまちづくり倶楽部の共催のもと、地域住民の方々、商店会、企業など、神楽坂をあげて共に作り上げていくフェスティバルです。子供から大人まで、そして外国の方々に至るまで、世代や文化を超えて気軽に楽しんでいただくことができます。

神楽坂路上界隈～新内流し（鶴賀若狭掾一門）  
浄瑠璃の一流派、新内節。三味線の音色が石畳に染みる。▼



## 2019年は5月に開催！

2018年度までは11月に行われていたイベントですが、2019年度から5月開催となります。薫風も爽やかで過ごしやすく、まちをそぞろ歩くのがより楽しい季節です。さらに竹あかりが灯る夕暮れまで、神楽坂を存分にお楽しみください。前夜祭から<宵祭>と名称を改めた（11日）には、店舗や路地など独特な雰囲気を出し、夜ならではの神楽坂を。そして<本祭>（12日）は、寺社境内や歩行者天国の路上など賑やかな神楽坂の魅力と合わせて、様々な伝統芸能をお楽しみいただけます。

## 様々な伝統芸能の演者たちが、そして珍しい楽器が勢ぞろい

神楽坂に縁（ゆかり）があり、若手からベテランまで、伝統芸能の第一線で活躍するアーティストが出演いたします。これだけ数多くの伝統芸能が一堂に会し、ハイクオリティなパフォーマンスをご覧いただける機会は他にはありません。テレビほか様々なメディアにも登場する著名アーティストや、めったに見聞きすることができない珍しい楽器などと間近に接することができる絶好の機会です。

## 神楽坂名物「流しの芸能」「お座敷遊び」、そして新コンテンツも！

今年も、鶴賀伊勢吉をはじめとする人間国宝・鶴賀若狭掾（神楽坂在住）一門が石畳の路地を歩きながら演奏する「新内流し」、富山県南砺市よりお招きする「城端曳山祭<庵唄>」など「流しの芸能」は不可欠の存在です。芸者さんが唄や三味線、踊りを披露し、お客様も参加できる「覗いてみようお座敷遊び」も神楽坂ならではのプログラムです。また新コンテンツとして、日中の赤城神社で音楽を主体とする「神遊びライブ」を実施することになりました。毘沙門天善國寺の話芸と併せて、神楽坂の二大寺社が名実ともにこのイベントの中心となります。

覗いてみようお座敷遊び▼



## ボランティア&amp;まち舞台コンシェルジュ

このイベントは、地元・神楽坂の方々、海外留学生、企業の皆さまなど、延べ100名以上のボランティアによる、外国語対応、お客様ご案内等の協力によって支えられています。また、伝統芸能を学び神楽坂を良く知るボランティア有志によって構成された「まち舞台コンシェルジュ」たちが、イベント当日に各スポットで、伝統芸能のジャンル、演奏者、各種楽器、そして神楽坂について詳しく丁寧にご案内いたします。

## 神楽坂エリアについて

再開発から変貌した東京において、神楽坂は江戸時代の地割りがほぼそのままに、石畳の路地などが残されてきました。東京でも少なくなった神楽坂花柳界の発展とともに、芸事を重んじる歌舞音曲の師匠たちは神楽坂周辺に稽古場をもち、伝統芸能を継承してきました。また、戦前にはいくつもの演芸場があり、話芸なども盛んに行われていました。戦後、神楽坂周辺には「パリの佇まいを彷彿させる」としてフランスをはじめとした外国人が多く住み、従来の日本文化と調和・融合し独特の風情を生み出しました。昨今ではNPO法人粋なまちづくり倶楽部を中心として、若年層のボランティアや商店会、企業、お店などのもと、伝統芸能をはじめとした大小さまざまな文化イベントを数多く実施しています。多くの文化遺産に溢れた神楽坂は、現在では国内外からも大きく注目を集める街です。



▲神楽坂芸能めぐり 街角ライブ  
(藤山大樹/手妻)

**タイトル:**「神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2019」

**開催日時:** 宵 祭 2019年5月11日(土) 15:00～

本 祭 2019年5月12日(日) 11:30～ \*両日共に雨天決行・荒天中止

**実施会場:** 神楽坂エリア(毘沙門天善國寺、赤城神社、東京神楽坂組合・見番、  
神楽坂通りエリア内路上、歴史的名所旧跡、THEGLEE、縁香園、神楽坂モノガタリ (ほか))

**参加料:** 無料(「覗いてみようお座敷遊び」のみ有料・要事前申込)

**主催:** アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
NPO法人粋なまちづくり倶楽部

**助成・協力:** 東京都 \*平成31年度一般会計予算が、各議決機関における議決を経て、成立した場合に確定

**後援:** 新宿区/一般社団法人 新宿観光振興協会

**協力:** 東京神楽坂組合/毘沙門天善國寺/赤城神社/株式会社粋まち/神楽坂通り商店会/  
神楽坂商店街振興組合/江戸東京ガイドの会/光照寺/圓福寺/  
若宮町自治会/東京理科大学/法政大学/あずさ監査法人/  
第一勧業信用組合 神楽坂支店/熊谷組/ニューハウス/ちかけん

**制作:** 有限会社古典空間 **運営:** NPO 法人アークシップ **広報:** 有限会社サザンカンパニー

**お問合せ:** 神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2019事務局(古典空間内) 担当:小野木、佐藤

TEL: 03-5478-8265(平日10～18時) FAX: 03-5478-8267

メール: [contact@kaguramachi.jp](mailto:contact@kaguramachi.jp)

**公式ウェブサイト:** <https://kaguramachi.jp/> (2019年度の概要は2019年3月公開予定)



▲店めぐり・伝統芸能ライブ(桧山うめ吉/俗曲)  
楽しいトークも交えての演奏で、初めて観る方も楽しめる。



▲神楽坂路上界限～富山県南砺市・城端曳山祭<庵唄>(宝槌会)  
羽織袴の男衆が、笛や三味線を奏でながら裏路地を流す。

### 内容:

#### 1.宵祭-Eve- (5月11日)

##### ・店めぐり・伝統芸能ライブ(席数限定、整理券配布)

カフェやレストラン、ライブハウスを会場として、箏や三味線などのライブを行います。

##### ・神楽坂楽座～講釈場

神楽坂のランドマークである毘沙門天善國寺の特設ステージでは、講談や落語パフォーマンスなど日本の伝統語り芸を披露いたします。

・神楽坂路上界限～新内流し ＊本祭でも実施

神楽坂在住、新内節の人間国宝・鶴賀若狭掾一門の皆さんが、三味線を弾きながら石畳の路地を流します。

・神楽坂路上界限～城端曳山祭(庵唄) ＊本祭でも実施

ユネスコ世界文化遺産の一つでもある富山県南砺市の城端曳山祭じょうはなひきやまつりより、江戸端唄いおりをルーツにもつと言われる「庵唄うた」を神楽坂に招聘。まさに「文化の里帰り」と言えます。

－出演者(順不同・敬称略)－

神田織音おりね(講師)、桧山うめ吉(俗曲)、鶴賀伊勢吉ほか鶴賀若狭掾一門(新内節)、吉永真奈(箏曲)、本條満留ひで×本條秀邦(端唄)、シリル・コピーニ(落語パフォーマンス)、宝槌会ほうてつかい いおりうた(庵唄)

2.本祭-Main Festival- (5月12日)

・神楽坂楽座～講釈場

神楽坂のランドマークである毘沙門天善國寺の特設ステージでは、講談や浪曲、義太夫節など日本の伝統語り芸を披露致します。

・神楽坂芸能めぐり 街角ライブ

メインストリートの神楽坂通り(早稲田通り)では、雅楽から箏、尺八、津軽三味線、太神楽、手妻まで様々な伝統芸能を楽しめます。

・神遊びライブ

赤城神社社殿を背景に仰々階段をステージに、江戸太神楽や尺八、箏、ギターなど、神も浮かれて踊りだすような楽しい伝統芸能、心安らぐ音楽をご堪能ください。

・覗いてみようお座敷遊び(有料、要事前申込)

神楽坂花柳界の協力を得て、普段は上がることのできない芸者さんの稽古場「見番」で、お座敷遊びを体験できます。チケット発売は4月1日(月)より開始いたします。

・神楽坂タイムスリップ スタンプラリー／歴史ガイド／子ども広場

オリジナル手拭がもらえる神楽坂を巡る「スタンプラリー」や、子供たちも思い切り楽しめる昔ながらの「伝承あそびコーナー」、神楽坂に詳しくなれる「歴史ガイド」なども。

・赤城神社夕暮れライブ

夕暮れをバックにしたモダンな赤城神社・神楽殿で、今年は非常に稀少な楽器オーケストラの演奏(協力:公益財団法人大倉文化財団・大倉集古館)、そして手妻や長唄三味線+邦楽囃子が賑々しく披露されて祭を締めくくります。

－出演者(順不同・敬称略)－

竹本京之助×鶴澤賀寿(義太夫節)、小山豊×小湊昭尚×大多和正樹(津軽三味線×尺八×和太鼓)、こと×多田綾子(笛×二十五弦箏)、雅楽トリオゆらら(雅楽)、丸一仙翁社中(江戸太神楽)、藤山大樹(手妻)、尺八カルテット GMQ(尺八)、セ三味ストリート(津軽三味線パフォーマンス)、玉川奈々福×沢村豊子(浪曲)、遠音(尺八・三塚幸彦×箏・小野美穂子×ギター・曾山良一)、鶴賀若狭掾一門(新内節)、宝槌会(庵唄)、木立(胡弓・木場大輔×キーボード&シンセサイザー・足立知謙)、田辺銀治(講談)、藤高恵理子(筑前琵琶)、鳥羽屋里夕連中(長唄三味線)×望月晴美連中(邦楽囃子)、上條充(江戸糸あやつり人形)、弓連者(胡弓・奥田かな×岡戸朋子×大嶋礼子)、渋谷画劇団(紙芝居)、神楽坂芸者衆 他



▲神楽坂楽座～講釈場(玉川奈々福×沢村豊子/浪曲)  
数々の伝統語り芸を楽しめる。



▲赤城神社夕暮れライブ  
モダンな神楽殿にて祭は賑々しくフィナーレを迎えます。

\*諸事情により内容を変更、または中止する場合があります。

■報道関係の方のお問合せ先

神楽坂まち舞台・大江戸めぐり 2019 事務局 (古典空間内) 担当: 小野木、深澤  
TEL: 03-5478-8255 FAX: 03-5478-8267 E-Mail: pr@kaguramachi.jp